

令和 3 年度通常総会 書面表決で開催



地縁団体内膳町自治会通信

第 40 号

発行：地縁団体内膳町自治会

会長に細川和勇氏が再任

本年度の総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面での議決とし、令和 3 年 5 月 16 日必着で書面表決書をご提出いただきました。

令和 3 年 5 月 1 日現在の会員数は 530 世帯 1338 人、書面表決書提出数 451 世帯 1141 人で自治会規約第 19 条、会員の 5 分の 1 以上に達しており以下のとおり議決が成立いたしました。

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告

賛成 1141、反対 0

第 2 号議案 令和 2 年度決算報告

賛成 1141、反対 0

第 3 号議案 規約一部改正（案）

賛成 1136、反対 5

第 4 号議案 令和 3 年度役員（案）

賛成 1138、反対 3

第 5 号議案 令和 3 年度事業計画（案）

賛成 1141、反対 0

第 6 号議案 令和 3 年度収支予算（案）

賛成 1141、反対 0

第 1 号から第 6 号までの議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

ご挨拶

新緑の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は地縁団体内膳町自治会の活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。先般の通常総会は書面での表決となりましたが、会員皆様方のご理解により早々ご承認賜りましたこと、まずは以て厚く御礼申し上げます。現在まで築き上げてこられました歴代会長は「内膳愛」をもってイノベーションし、若手育成等の素晴らしい事業展開をされて来られました。今日に至るまでコロナ禍により逼迫した状況のまま推移しており、昨年度私どもも思うように事業が出来ませんでした。しかしながら、この難局を会員皆様方と共に乗り越えなければならぬと思っております。さて、本年度も私どもには大切にしております三つの思いがございます。一、ヤング・イン・ハート（心に若さを持つとう）ジョン・F・ケネディ大統領が老若男女の聴衆に対してこのように冒頭演説しています。マイ・コール・イズ・ヤング・イン・ハート「若さを持った諸君」と表現しています。若さというのは年齢ではありません。「心に持つ情熱」であり、加えて「一所懸命させていただく」ことであります。

二、互いに対する愛を持つとう（しあわせの語源）私どもの先輩であります薬師寺の加藤朝胤様の語録であり、現在には管主になられておられます。講話の中で

「『しあわせ』の語源はと申しますと、人とよく互いに「仕合」をすると言いますが、これは、お互いが「仕合」と「仕合」を合わせて『仕合わせ』つまり、互いに助け合う、支え合うところから『しあわせ』という言葉が生まれた。」とお話しされておられます。

三、体解大道（たいげだいどう）

「体が理解することにより大きな道が開かれる。つまり、何事も頭や知識だけでなく、体験や経験を通して大きな道が開かれる。」といわれております。

この三つの思いを大切に、私どもは公正公平で開かれた会運営をしていきたいと思っております。明日の内膳町を担う子供たちに『夢と希望と愛・・・そして感動』を与えられますよう、また『内膳町に住んでよかった。』と思っていただけますよう「内膳愛」に溢れた事業展開を目指したく存じます。

その実現は、会員皆様のご協力なくして、到底届くものではないと思います。どうぞ今後とも倍旧の暖かいご支援、ご友情を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

令和三年六月

地縁団体内膳町自治会

会長 細川 和 勇

地縁団体内膳町自治会

部会員の紹介（敬称略）

地縁団体内膳町自治会の各部会員が決定いたしました。
皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

★自治委員部会

部会長	米谷	善及
副部会長	田口	義仁
部会員	増田	博文
〃	小川	延行

★財産管理運営部会

部会長	小林	正雄
副部会長	小柳	和彦
部会員	岡本	光司
//	竹邨	浩
//	桶谷	充廣

★駐車場運営協議会

委員長	細川 和勇
委員	下田 吉美
〃	丸谷 隆久
〃	上田 雅史
〃	井上 喜夫
〃	小林 正雄

★安心安全環境部会

部会長	大谷 明雄
副部会長	阪西 武男
部会員	杉井 祐介
〃	細木 祐樹
〃	辰巳 忠由
〃	小松原 正明

よく 新自治委員の皆様

令和3年度内膳町自治委員名簿（敬称略）

1	丁目	下田	吉美
	〃	嶋本	隆央
2	丁目	黒木	義智
	〃	竹邨	浩
	〃	堀本	文男
	〃	増田	博文
	〃	木村	進
	〃	森田	輝夫
3	丁目	吉備	孝一
	〃	田口	義仁
	〃	田守	了
	〃	米谷	善及
	〃	山田	和子
	〃	大谷	明雄
4	丁目	小川	延行
	〃	安田	信也
	〃	今里	昌樹
	〃	杉井	康夫
5	丁目	井上	吉夫
	〃	井上	勝文

令和3年度内膳町の自治委員をご紹介します

令和3年度の檀原市八木地区自治委員内膳町支部の委員が次の方々に決まりました。（左記参照）

前年で退任されました自治委員の皆様、ご苦勞さまでした。また新たに選任された委員の皆様は、内膳の地域発展の為、どうぞよろしく願います。



開催日 7月23日(金・祝)
時間 11時～12時
場所 内膳大師堂(2丁目)

毎年恒例の地藏菩薩（お地藏さん）の祭り、「地藏盆」が7月23日に営まれます。当日は、諦聴寺のご住職により読経があげられます。本年度も新型コロナウイルス予防のため、地縁団体の役員のみで執り行う予定です。

今号から名称が変更になりました！

Love Naizen
ラブ ないぜん

自分たちのまちを知り、自分たちのまちを愛する。そして、素敵な風、爽やかな風を吹かせて、自分たちの力でその未来を築こう。
“まちの魅力”をみんなが共有することで、もっと、もっと、好きになってもらいたい。あなたがこのまちで、好きな場所、好きな食べ物、好きなひと・・・
この魅力あふれるまちを、みんなにも好きになってほしいから。

内膳町 町紹介及び町名由来

近鉄大和八木駅を囲む町

大和八木駅は21世紀の橿原市の玄関口であり、その東西南北を取り囲むように内膳町の一―五丁目が位置しています。

内膳へないぜん・うちのかしわで

内膳（ないぜん・うちのかしわで）とは内膳司（ないぜんし・うちのかしわでのつかさ）の略で律令制で、宮内省に属し、天皇の食事をつかさどった役所、天皇の食膳について調理を担当する管司（大司）とされ、橿原市膳夫町（かしわでちよう）も膳夫（かしわで）氏が天皇の料理人であつたという由来で町名になつたようです。内膳町は橿原市曾我町の隣になり、蘇我氏の食事をつかさどつていたと言ひ伝えられています。こうした古より関わりでもつて地名になつたと推測されます。文献上では貞和三（一三四七）年の春日大社文書に、当地名が「内善」として最初に見えます。応永六（一三九九）年の文書にも同地名で書かれたあと、天文一五（一五四六）年の興福寺関係文書で初めて「内膳」と書き換えられています。この間に地名が「内善」から「内膳」となり、その後、現地名が定着したのでしょう。「内膳村」として江戸時代を経た当地は、明治二二年に耳成村の大字となります。昭和二四年に八木町の大字となり同三一年、橿原市発足で市域に入り同年一〇月に「橿原市内膳町」となりました。

地縁団体内膳町自治会 令和 2 年度の活動紹介

令和 2 年度はコロナ禍により通年の行事を実施出来ませんでした。しかし助け合う、支え合うという『しあわせの語源』を実施することが出来ました。

独自給付金（見舞金）の配布

昨年度は地縁団体内膳町自治会が発足して 20 周年という節目の年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大による様々な自粛生活の中、内膳町も恒例の桜まつりや秋まつりの開催を断念いたしました。そのため会員の皆様への手助けになればとの思いで地縁団体内膳町自治会の会員を対象に 1 世帯あたり 2 万円の独自給付金（見舞金）の配布を行いました。



地縁団体内膳町自治会 令和 3 年度の活動予定

桜まつり（令和 4 年 3 月末予定）

昨年中止となった「内膳町住民お花見会」として開催する予定です。



さくら公園遊具増設

以前から要望の多かった、さくら公園への遊具増設を予定しています。安全管理のしやすいものを設置予定です。



内膳町秋まつり（10/24 予定）



「内膳町秋まつり」は昨年度で開催 10 回目を迎える予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。本年度は感染症対策にも一層取り組みながら、開催内容を見直し、安心な秋まつりとして開催を予定しています。



特別対談



地縁団体内膳町自治会

会長 細川 和勇 氏

檀原市

市長 亀田 忠彦 氏

“ちょっと素敵な檀原市” を目指して

会長 本日は貴重なお時間をいただき本当にありがとうございます。本日の対談では互いの活動や施策を知ること、今後の連携を図ると共にこの地域を前進させていくために有意義なものにしたいと考えています。よろしくお願いします。

市長 こちらこそよろしくお願いします。

会長 本市におけるワクチン接種状況はいかがですか。また、ワクチン接種会場として「すみれホール」を無償で使用していただいていたのは役員会で承認し、ご提案させていただいております。どうか有効利用してください。お役に立てれば幸いです。

市長 まず、すみれホールをワクチンの接種会場として無償提供していただくことを、細川会長以下役員の皆様でご了承いただいたと先日お聞きして、大変ありがたく思っております。有効活用させていただく方法はないかと、早速、県とも調整しています。すみれホールは大和八木駅より非常に近く、できれば接種会場として利用することができないかと考えて

おります。改めて感謝申し上げます。

もう一つ、ワクチン接種は今のようになっているかということですが、当初ワクチン接種が始まった頃は、できるだけ早く接種するという目標があり、概ね8月末ぐらいに完了するのですが、スタートしたのですが、政府が7月末までに65歳以上の方に打ち終えるという方針を出しましたので、そこから急きょ接種体制を増強していかねばならない作業がかなり大変でした。ようやく65歳以上の方で、希望される方へのワクチンの接種を7月末までに完了できるといふ体制が取れたこと、また、7月末までに予約が取れなかった65歳以上の方に、関係しても、前倒しで予約の取り直しをしていただいています。この作業もほぼ完了したというところで、希望される65歳以上の方は7月末までにワクチンを接種し終わることができるといふことになりました。併せて8月以降をどうしていくのかということですが、まずは基礎疾患のある方に優先的に接種していただくことになりました。それと、よくTVや新聞でも取り上げられているエッセンシャルワーカーと呼ばれる、警察官や消防士、幼

稚園や保育所・小中学校の先生、ごみの収集に関わる人などに、優先的に接種していくということを8月以降行っていく予定です。また、64歳以下の一般の市民向けの接種も併せて行います。これも政府が提唱している11月末に接種し終わる体制を確立していますので、今後は、予約をしつかり取ってもらおうということになります。また、接種券がいつ頃届くかということなのですが、7月5日から順次発送となりますので、早い方であれば、7月6日から7日にはお手元に着きます。さらに医師会の皆様方にご協力いただき、50数か所で個別接種が可能になりましたので、ワクチン接種については順調に進めさせていただいております。

会長 市庁舎建設事業、県立医科大学・附属病院を核としたまちづくり事業、そして市スポーツ施設の活用及び整備に関することを端的にお聞かせ願えますか。



市長 端的にご説明するのはなかなか難しいのですが、基本にあるのは、どの事業も全て橿原市の発展に繋がることが大前提にあるということだと思います。発展に繋がらないのであれば、そもそも事業を実施することもありません。その中で今おっしゃられた、橿原市の本庁舎の建設事業、医大の整備、スポーツ施設の一体整備ということが、大きな事業として取り上げられています。新本庁舎の建設については、一旦、事業を止め、まずは既存の施設に機能を移転させ、耐震のない現在の本庁舎を安全に解体・撤去することを検討しております。大和八木駅周辺エリアは、橿原市の中でも最も価値が高いと言えます。そういう場所に市役所があったほうがいいじゃないかという意見も当然あるし、いやいやもつと有効的に活用したほうが、街の賑わいに繋がるのではないかと、いう考えもあり、庁舎を建てる、建てないを別にしても、この大和八木駅周辺が、もつともつと賑わうような整備をしていかないといけないと思っております。

次に、医大の整備についても、奈良県内の最先端医療を司る機関です。医療体制の拡充という一つの事業として、まずは大学部門を移転させる事業が着々と進んでいます。医大と周辺のまちづくりは、橿原市にとっても地域が活性化していくことに繋がりますので、これも積極的に進めたい。駅の問題もありますが、市民の皆さんにしっかりと納得をさせていただけるような方向で進めていけたらと思っております。

また、スポーツ施設の一体整備についても、奈良県は全国的に見てもスポーツ施設の整備が遅れています。全国大会に出場された方などが、奈良県の施設は、とにかく古くて恥ずかしいと言われるのを聞きしたことがあります。奈良県全体として、スポーツ振興に力を入れていかないといけないという中で、10年先に国体を奈良県で実施するということがほぼ決定しましたので、これがひとつのきっかけになるのではないかなと思います。奈良県全体としてのスポーツの拠点を橿原市に整備することによって、橿原市の発展、さらには中南和地域の発展にも繋がっていくことだと思います。今まで全国的に遅れていたスポーツ施設をリニューアルし、その主要な施設が橿原市に点在することによって、いろんなスポーツに関わっている方たちの利便性にも繋がっていくのではないかなと思います。これもターゲット的に見ると、橿原市にとつてプラスになるのではないかなと考えています。そういったことを考えて、この3つの事業、自分の考え方をいかに皆さん方にご理解していただけるのか、また、効果はどういうものであるのかという

ことを、しっかりと示していかないといけないと思っております。

会長 我々地縁団体内膳町自治会は、本年度21年目の新たな一歩を歩みだしました。『内膳愛』をスローガンに掲げ、明日の内膳町を担う子どもたちに『夢と希望と愛』...そして感動』を与えられるよう、また『内膳町に住んでよかった』と思ってもらえるよう事業展開を目指しております。市長が考える「夢と希望と愛ある社会」とはどのようなになりますか。

市長 素晴らしいスローガンだと思います。橿原市が目指すまちづくりも内膳町の皆さんが掲げておられるスローガンに近いものがあります。橿原市に住む人が、橿原市に住んで良かったと思ってもらえるまちづくりを進める。子どもたちのニーズ、年配の方のニーズ、さらには障がいのある方のニーズと、個々



会長 先日、広報かしはらで拝見させていただきました。令和3年度施政方針は、私ども会長挨拶と相通ずるものがあると思います。今一度、施政方針をお聞かせ願えますか。

のニーズは違うと思うのですが、年代や障がいのあるなしに関わらず、住みやすいまち、生きがいを持てるまちということを目指していきたい。櫃原市は、建国の地、日本国発祥の地である、そんなオンリーワンの土地なのです。さらにJRと近鉄合わせて、駅が13もある、こんなまちは全国的に見てもそんなにないんです。この住みやすさと歴史溢れる、便利なまちということをPRしながら、どの世代の方にも「櫃原ってええとこやね」と言ってもらえるまちを目指していきたいなと思っております。



市長 先ほどから大きな事業についてはお話しさせていただきました。令和3年度のそれ以外の取り組みの中で特に力を入れているのは、子育て環境や教育環境の充実を図ることです。「子育てしやすい街日本一」を目指していくこと、また、京奈和自動車道の早期開通を目指すことで、地域産業の活性化を図りながら、新たな雇用を生む企業誘致などを促進することなどがありますが、特に肝いりの取り組みとして「デジタル化の推進」があげられます。本年4月にデジタル戦略課を創設し、民間からデジタルコーディネーターを2名採用し、行政の効率化と市民の皆様への利便性の向上などを目指し積極的に活動しています。先日からデジタル技術活用施策検討のための課題調査（市民アンケート）を実施したところ、パブリックコメ



ントの返信数と比べるとはるかに多い約400件のご意見をいただきました。市民の皆様がデジタル化の促進に関心の高いことがよくわかります。皆様もご承知の通り、コロナウィルス感染症の拡大により、今までの生活習慣が大きく変わりました。オンライン会議やテレワークなどはその代表的なものです。今までの概念を大きく変えていく必要があります。デジタル化の促進、ICTの活用により、市役所における作業の徹底的な効率化（決裁書類の押印のデジタル化）を図りたいと考えております。そして、教育現場においてもICTの活用が進められています。小中学校の生徒一人一人にパソコンを1台整備し、国が推奨するGIGAスクール構想に沿って、ICTの活用による児童生徒の個々の習熟度にあわせた学習ができることを目指していきます。デジタル化の推進はともすれば人と人との触れ合いの機会が少なくなるイメージを受けられる方もいらっしゃるかもしれませんが、決してそうではありません。デジタル化できる分野は徹底的にデジタル技術で効率化を図りながら、細川会長の「挨拶にもある、人と人が支え合うべきこと、古来より続く古き良き伝統を守りながら地域を持続可能なまちにしていきたい」というデジタル化を促進していくというこ

とになります。デジタル促進には欠かせないマイナナンバーカードの普及にも力を入れていきます。マイナナンバーカードをお持ちの方、または新規にマイナナンバーカードを作成される方に、コロナ対策も兼ねて市民一人につき3千円の地域振興券を発行させていただきま（詳細は後日ホームページ等をご確認ください）。今後、マイナナンバーカードと連携させたサービスも構築していくことも目指していきます。

会長 最後になりましたが、亀田市長の心意気が垣間見えたように思いました。「ちよつと素敵な櫃原市」を目指していただき、施政に邁進していただきたいと思っております。地縁団体内膳町自治会も最大限、ご協力ご支援させていただきたく思います。さらに櫃原市と地縁団体内膳町自治会と一緒に歩んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。本日は大変お忙しい中お時間を取っていただき、ありがとうございました。

市長 こちらこそ、ありがとうございました。

※対談は6月24日に、マスク着用の上、新型コロナウイルス感染症防止に最大限配慮した形で実施いたしました。

安心安全環境部会だより

昨年度はリース契約が終了した2ヶ所のアナログカメラを、最新デジタル式のものに変更しました。画像も鮮明になり、夜間でもしっかりと録画出来るようになりました。この2ヶ所は警察からの照会依頼も多い場所ので、地域の防犯にさらに役立ってくれることと思います。
現在25か所30台のカメラが内膳町の安全を見守っています。



内膳町防災会 令和3年度活動計画

内膳町防災会役員会において、今年度の活動内容の確認を行いました。

【活動計画】

- ・消火器の保守点検及び防災倉庫内の備品点検
3月・4月（消火器の保守点検実施済）
備品点検（今年度実施予定）
- ・晩成校区合同の草刈りについて
6月27日（日） 予備日7月4日（日）
- ・すみれホールまたは安心パークにて防災学習 未定
- ・愛宕祭模擬店の出店協力について 愛宕祭中止
- ・第11回防災フェスティバル開催9月26日（日）予定
- ・晩成校区合同の草刈りについて
10月17日（日） 予備日10月24日（日）
- ・晩成校区防災会合同訓練 11月14日（日）予定
- ・防災学習（安心パーク） 2月頃予定
- ・集団下校時の避難行動訓練に協力参加（晩成小）
2月の予定（晩成小と調整）
- ・町内夜間パトロール（地縁団体内膳町自治会と合同で）
毎月第4土曜日
以上 令和3年度の活動計画を決めました。

会 長	大谷	明雄
副会長	浦野	真二
副会長	上田	雅史
情報班長	松村	隆宏
消火班長	井上	喜夫
救出救護班長	阿形	優
避難誘導班長	松井	広視
給食給水班長	神所	孝
広報部長	小林	真優香
会 計	今里	昌樹
監査役	阪西	武男
監査役	淵田	昌彦
相談役	上田	剛
顧 問	田中	眞幸 (敬称略)

本来であれば、第十一回内膳町防災会総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止することとなりました。会計報告につきましては、4月12日（月）に檀原市役所危機管理課に提出し、受理されましたことをご報告いたします。



防災会だより

善寿会だより

善寿会のグランドゴルフ

内膳善寿会は月に2回のペースでグランドゴルフをさくら公園にてやっています。

メンバーは男女あわせて約13～14名で、使用する道具類は全て貸し出ししております。わきあいあいと世間話をしながら、プレーを楽しんでいます。あなたも外に出て、一緒に遊びませんか？

令和3年度 善寿会役員名簿	
会 長	幸 眞一 志子雄孝 信代子子
副会長	田中澤濃井谷井守川島村山所居
会 計	森美若大若田堀福江西神鳥
監査役	田中澤濃井谷井守川島村山所居
幹事	森美若大若田堀福江西神鳥
幹事	田中澤濃井谷井守川島村山所居
幹事	森美若大若田堀福江西神鳥
顧問	田中澤濃井谷井守川島村山所居
相談役	森美若大若田堀福江西神鳥

内膳善寿会では常時会員を募集中です。月に2回のグランドゴルフや、月1回の囲碁教室など会員が楽しめる催しを随時行っています。月1回の例会ではカラオケもあります。60歳以上の方であれば男女を問いません。入会ご希望の方は神所（かんじよ） ☎222-3784まで

一緒に活動しましょう！

素敵な風をあなたから創ろうまちの物語



NAIZEN OUR HOME

地縁団体内膳町自治会は20周年を迎えました。平成12年12月7日すみれホールにおいて内膳町自治会として設立し、平成13年3月12日に榎原市長より認可されました。平成21年9月6日諸般の事情により組織変更し、令和元年7月24日に告示事項変更届及び規約変更届により正式に地縁団体内膳町自治会の名称で認可され告示されました。令和2年8月18日登記完了しました。従いまして、地縁団体内膳町自治会は共有財産及びすみれホール、さくら公園、立体駐輪・駐車場、第一集会所等を所有し、会費を徴収することなく運営しています。

本会は、会員相互の連帯と親睦を深め、福祉の増進を図り安全で安心して暮らすことができる住みよい地域づくりのために活動することを目的としています。公正公平で開かれた組織を目指しています。どうか入会し、一緒に活動しませんか。そして、素敵な風、爽やかな風をあなたから吹かせてください。一緒に未来の内膳町の物語を創りましょう。

入会に際しては申込が必要です。

申込書はすみれホール事務局か役員または自治委員にお尋ねください。

地縁団体という法人格を取得できる

平成3年4月2日公布施行の地方自治法の一部が改正され、地区会など地縁の団体で一定の要件に該当する場合は、市長の認可があれば「法人格」を取得できるようになり団体での不動産登記が出来るようになりました。

地縁団体内膳町自治会

≠

市連合自治会翼下の内膳町の自治委員で組織する内膳支部

基本的にイコールではありませんが、地縁団体内膳町自治会の役員を会員及び自治委員から選出していますので、協力できることは協力仕合えるようにしています。

